

泉区に即戦力

◎ 前横浜市会議員(3期)

◎ 横浜市会での各委員会委員長

◎ 自民党横浜市連での政務調査会長(2期4年)

プロフィール : 昭和24年3月2日 生 国立群馬工業高等専門学校 卒

日本コロムビア・相鉄建設・すが義偉(現衆議院議員)事務所長

かじむら 充 の 取り組み

- 1、和泉町のスクールゾーンに安全灯の設置要望に応じて、今年度に道路局が設置
- 1、私道路を舗装するという要望に応じて、来年度に実施(2箇所)が決定
- 1、上飯田町にある松風学園裏のスクールゾーン道路形態の見直し要望に応じて、橋部分の拡幅が決定
- 1、県立松陽高校入り口の歩道の拡幅をというスクールゾーン協議会の要望に、高校側と交渉中

「トピックス横浜」

※ 平成23年度に向けて、横浜市では局の再編成に取り組んでおります。局編成の目的は、市会への報告によると、わかりやすさの向上(前市長の独断的な変更を元に戻す)や、市民サービスの一層の向上を図るとしてあります。

☆ 基本的な考え方

- 1、「市民の暮らしの充実・安心」と「将来の横浜の活力」を最大限高めることの出来る組織とする。
- 2、区役所など現場の職員の働きやすさを向上させ、職員一人ひとりが能力を発揮できる組織とする。
- 3、市民のみなさまにとってわかりやすい組織・名称とします。(梶村:あたりまえです)

☆ 財政部門の独立と、文化・観光・ビジネスイベント・創造都市よこはまの確立を推進するための新局



みつる かじむら 充

市政レポート

まず地域、まず暮らし。

平成22年11月 第21号

討議資料

発行 自民党泉区連合支部

〒245 - 0013

横浜市泉区中田東 3-16-1

TEL045 (806) 1051

FAX045 (806) 1053

信頼される自民党に！

自民党の考える緊急経済対策

- ① 生活を守る！【国民生活の基盤 雇用確保・安心の基盤確保 対策】 1兆400億円
★雇用調整助成金の要件緩和 ★学生等の就労支援・トライアル雇用の実施 ★職業訓練の充実・企業内訓練制度の導入 ★職業訓練者に対する生活支援拡充 ★児童・学生のいる失業者世帯への緊急就学支援・給付型奨学金の創設 ★単身低所得高齢者に対する生活支援 ★安心子ども基金の延長 ★地域の求める医療機能や病院の集中的整備
- ② 産業を守る！【円高で不況にあえぐ企業への支援】 5100億円
★研究開発税制・エンジェル税制の対象拡充 ★設備投資減税の拡大 ★国内外の企業・研究施設誘致 ★中小企業の資金繰りの確保・拡充 ★新たな公的融資の枠組みの創設 ★下請代金支払遅延防止法・適正取引推進ガイドラインの運用強化 ★中小企業の活性化へ人材確保と育成 ★中小企業向け技術開発支援 ★エコカー補助金・家電エコポイントの延長
- ③ 地域を守る！【公共事業等で地域経済を活性化・農林水産業の基盤強化・安心して暮らせる 対策】
★地域経済・雇用対策緊急交付金(仮称)の実施 1兆5000億円 ★未来への投資を実施するための社会資本整備の前倒し実施 5000億円 ★肉・果物・水産物の海外売り込み強化へ品目別輸出振興組織の設立 ★農地集積加速化などによる攻めの農業の実現 3000億円 ★天候不順による野菜等の農産物価格高騰対策 ★米価下落に対応するための緊急需給対策 500億円 ★地球温暖化防止のための森林整備 500億円 ★住宅・公共施設等の耐震工事の早期実施 4000億円 ★学校耐震化の早期推進・太陽光パネルをはじめとするエコ改修・最先端の情報通信機器の環境整備の推進 2000億円
- ④ 未来を守る！【将来の経済成長の芽を育てる施策】 4000億円
★燃料電池・電気自動車のインフラ整備・再生可能なエネルギー転換促進・健康、医療(再生医療)などを将来の基幹産業として位置付け先行的かつ集中的な投資の実施 ★わが国の優れたインフラ関連産業のシステム一体での国際展開支援 ★経済発展の芽の成長につながる各種規制棚卸の実施

以上、我が自民党の緊急経済対策を民主党政権は丸呑みでも良いから

直ちに補正予算を組み、バラマキ政策の執行停止をすべきです。

かじむら みつる
梶村 充

twitter (日々つぶやいています) は ホームページ www.m-kajimura.com から

ご意見をお寄せください E-mail office@m-kajimura.com FAX 045 (806) 1053